

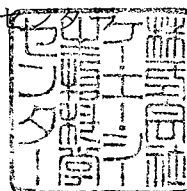
株式会社メディカルエイジェント 御中

検査報告書

スーパー次亜水の消毒効果の検討

株式会社ケー・エー・シー 生物科学セ

滋賀県栗東市東坂9 1 番地



環境検査

目的

スーパー次亜水の消毒効果を確認するために、スーパー次亜水による噴霧直後及び噴霧一週間後の浮遊菌及び付着菌の検査を行ったので報告する。

検査依頼

依頼機関 株式会社メディカルエイジェント

検査実施

受託機関 株式会社ケー・エー・シー 生物科学センター


所在地 滋賀県栗東市東坂91番地
TEL 077-558-3971 FAX 077-558-3972

環境検査実施日 2003年 8月25日、9月 1日

検査実施期間 2003年 8月25日～ 9月 3日

報告書作成日 2003年 9月 3日

受託責任者 多根井 昌孝 

検査責任者 中原 哲也 

検査実施者 中谷 有里 

検査実施概要

1. 検査実施日及び実施期間

検査実施日時：2003年 8月25日 (噴霧直後)

2003年 9月 1日 (噴霧一週間後)

検査実施期間：2003年 8月25日(月)～ 9月 3日(水)

2. 検査対象施設

大阪大学医学部 生命機能研究科 動物棟内飼育室10

3. 検査方法

3.1. 浮遊菌検査

3.1.1. 使用培地

細菌用：SCD寒天培地 (日本製薬「ダイゴ」培地を自家調製)

3.1.2. 使用器具

SASスーパー90エアースンプラー (マイルストーン ゼネラル株式会社製)

3.1.3. 試料の採取

上記エアースンプラーを用い、図に示したポイントにて100%の空気を採取し集菌した。

3.2. 付着菌検査

3.2.1. 使用培地

細菌用：SCD寒天培地 (日本製薬「ダイゴ」培地を自家調製)

3.2.2. 試料の採取

図に示したポイントにてスタンプ用SCD寒天培地を軽く圧着し、菌を採取した。

3.3. 培養方法および判定

前項で菌を採取した細菌用培地は、37℃ 48時間で培養し、集菌培地中の生菌数を算定、記録した（表1、2）。

4. 結果

4.1. 浮遊菌検査

表1に示したように、細菌において噴霧直後では測定5箇所中3箇所から2～6個/シャーレの菌が検出され、平均値は2.40個/シャーレであった。また、噴霧一週間後では測定5箇所全てから2～4個/シャーレの菌が検出され、平均値は3.20個/シャーレであった。

4.2. 付着菌検査

表2に示したように、細菌において噴霧直後では測定8箇所中7箇所から1～35個/スンプの菌が検出され、平均値は9.00個/スンプであった。噴霧一週間後では測定8箇所中6箇所から2～143個/スンプの菌が検出され平均値は51.50個/スンプであった。

以上の結果から、浮遊菌、付着菌共に、それぞれの箇所で見ますと噴霧一週間後よりも噴霧直後の方が菌数の多い箇所もありますが、平均値では、特に付着菌において噴霧直後の菌数が噴霧一週間後のそれよりも明らかに少なく、スーパー次亜水の消毒効果が有ったと判断されます。

表 1. 浮遊菌検査結果

No.	採取箇所	細菌数	
		噴霧直後	噴霧一週間後
1	飼育室 奥	0	3
2	飼育室 中央	0	3
3	飼育室 手前	6	4
4	フィルター付近	4	4
5	ラック脇	2	2
計		1 2	1 6
平均値		2.40	3.20

※平均値は少数第 3 位を四捨五入しております。

表 2. 付着菌検査結果

No.	採取箇所	細菌数	
		噴霧直後	噴霧一週間後
1	飼育室 奥床	3 5	1 4 3
2	飼育室 中央床	6	1 2 6
3	飼育室 手前床	1 8	1 0 7
4	フィルター付近	3	1 4
5	ラック扉表面	1	2
6	ドア表面	0	2 0
7	ラック側面	4	0
8	飼育室 奥壁面	5	0
計		7 2	4 1 2
平均値		9.00	51.50

※平均値は少数第 3 位を四捨五入しております。

【菌測定ポイント図(飼育室10)】

